参考書式１－１

廃材運搬費及び処分費内訳書（木造建物及び工作物）

⑴ 組成別処理方法及び廃材量

廃材物組成名			標準排出量（100㎡当り）	処理方法	処理場名	建物 対象面積（㎡）	建物 規模・用途別補正	建物 階層規模補正	建物 建物認定廃材量	工作物 附帯工作物廃材量	廃材量合計①（㎥）
木くず		a	46.0	破砕（再生）					-		-
ガレキ類	ｺﾝｸﾘｰﾄ(無筋)	b	19.5								-
	ｺﾝｸﾘｰﾄ(有筋)	c									-
	ｱｽﾌｧﾙﾄ塊	d									-
金属くず		e	8.5	再生		-	-		-		-
屋根葺き材		f	5.5	安定型		-	-		-		-
ガラス		g	0.5	安定型		-	-		-		-
廃プラ		h	3.5	安定型		-	-		-		-
混合廃棄物		i	12.0	安定型		-	-		-		-
石膏ボード		j	4.5	再生		-	-		-		-
床仕上げ材		k	1.5	管理型		-	-		-		-

注①：廃材量の小数点以下の処理については、小数点以下第2位（小数点以下第3位四捨五入）で計上する。ただし、廃材量の値が0．005未満となる場合にあっては、0．01として計上する。

⑵ 廃材運搬費

廃材物組成名			台数換算値②（基本10t）	台数換算値③（基本4t）	台数 ①÷②又は①÷③	処理場距離（km）	認定運搬距離（km）
木くず		a	15.8	10.5	0.00		
ガレキ類	ｺﾝｸﾘｰﾄ(無筋)	b	8.3	3.3	0.00		
	ｺﾝｸﾘｰﾄ(有筋)	c			0.00		
	ｱｽﾌｧﾙﾄ塊	d					
金属くず		e	18.5	7.4	0.00		
屋根葺き材		f	8.0	3.2	0.00		
ガラス		g	6.8	2.7	0.00		
廃プラ		h	11.5	4.6	0.00		
混合廃棄物		i	10.0	4.0	0.00		
石膏ボード		j	9.5	3.8	0.00		
床仕上げ材		k	10.3	4.1	0.00		

処理場名	処理場別台数合計	必要台数（10t）	必要台数（4t）	必要台数（2t）	単価	廃材運搬費［A］	摘要
		-				-	
	0.00		-			-	
	0.00			1		-	
		-				-	
	0.00		-			-	
	0.00			1		-	
		-				-	
	0.00		-			-	
	0.00			1		-	
		-				-	
	0.00		-			-	
	0.00			1		-	
		-				-	
	0.00		-			-	
	0.00			1		-	
計						-	

注①：廃材の総量及び周辺道路状況等から10t車を用いることが通常一般的と認められる場合は、10t車の台数換算値を摘要するものとする。（基本10tと基本4tのいずれかを選択）

注②：台数の小数点以下の処理については、小数点以下第2位（小数点以下第3位四捨五入）で計上する。 ただし、台数の値が0．005未満となる場合にあっては、0．01として計上する。

注①：10t車を用いる場合のトラックは10t車を標準とし、0.2台未満は「2t車」、0.2台以上0.4台未満は「4t車」、
0.4台以上は「10t車」を適用する。

注②：10t車を用いない場合のトラックは4t車を標準とし、0.5台未満は「2t車」、0.5台以上は「4t車」を適用す

⑶ 廃材処分費

廃材物組成名			処分単位（円/㎥）	処分数量	処理場名	処分単価	廃材処分費
木くず		a	㎥	-	0		-
ガレキ類	ｺﾝｸﾘｰﾄ(無筋)	b	㎥	-	0		-
	ｺﾝｸﾘｰﾄ(有筋)	c	㎥	-	0		-
	ｱｽﾌｧﾙﾄ塊	d	㎥	-			-
金属くず		e	㎥	-	0		-
屋根葺き材		f	㎥	-	0		-
ガラス		g	㎥	-	0		-
廃プラ		h	㎥	-	0		-
混合廃棄物		i	㎥	-	0		-
石膏ボード		j	㎥	-	0		-
床仕上げ材		k	㎥	-	0		-

処理場名	処理場別金額合計	廃材処分費［B］	摘要
0 -	-	-	
0 -	-	-	
0 -	-	-	
0 -	-	-	
0 -	-	-	
計		-	